

「介護ビジネスの未来を創る」
週高齢者住宅新聞
 Elderly Press Newspaper

2023年(令和5年)
8月2日
 第724号 (毎週水曜日発行)

(株) 高齢者住宅新聞社
 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15
 ☎03-3543-6852 (編集部)
 発行人 網谷敏数
 年間購読料 23,100円(送料込・税込)
 ホームページ
<https://koureisha-jutaku.com>

7割自立で高稼働維持

日本老人福祉財団
新理事長就任 新体制へ

介護付有料老人ホーム(ゆうゆうの里)を全国7カ所で運営する一般財団法人日本老人福祉財団(東京都中央区)は今年6月、新体制を発足。青木雅人氏が理事長を退任し、新理事長に小口明彦氏が就任した。財団設立より50年、12期連続黒字経営と安定した経営基盤を築いてきた同財団。小口理事長に話を聞いた。

「新体制について、小口 設立50周年を迎え、世代交代を行った形だ。私自身、当財団に入り41年。現場で30年経験を積み、その後本部でサービス支援に従事したのち、理事、常務理事を経て、理事長に就任した。」

1970年代初頭には、高度経済成長期の「核家族化」現象による療のシームレスな提供



小口明彦理事長

「1970年代初頭には、高度経済成長期の「核家族化」現象による療のシームレスな提供...」

「1施設約300戸の大規模施設でCCRCを展開している。小口 現在2500人超の入居者がおり、うち7割が自立。稼働率は全施設平均で96%を維持している。高齢者の健康不安解消のため、近隣に関連法人が運営する病院がある。施設を除き、診療所を併設。介護・医療を一体的に提供できる点も強みだ。業務支援事業も手掛けており、当財団同様の理念を持つ施設に対し、さまざまなノウハウを提供している。」

「1施設約300戸の大規模施設でCCRCを展開している。小口 現在2500人超の入居者がおり、うち7割が自立。稼働率は全施設平均で96%を維持している。高齢者の健康不安解消のため、近隣に関連法人が運営する病院がある。施設を除き、診療所を併設。介護・医療を一体的に提供できる点も強みだ。業務支援事業も手掛けており、当財団同様の理念を持つ施設に対し、さまざまなノウハウを提供している。」



▲フル併設の施設ではアクティクスも「やりたいこと」をし続けるための健康づくりを支援



▲京都(ゆうゆうの里)外観

「みについて、小口 職員満足度を高めることが、より良いサービスとなって利用者にと還元されるという視点で「人を育てる」ことを重んじている。現在の総職員数はパパート含め約1200人。近年では福祉系専門学校や大学、近隣の高校との関係構築が進んだことから、23年4月は新卒を29名採用。来年度も同等数の採用を予定している。転職が当たり前の時代だが、介護の仕事では、長く働いてもらえることに価値があると考える。」

「みについて、小口 職員満足度を高めることが、より良いサービスとなって利用者にと還元されるという視点で「人を育てる」ことを重んじている。現在の総職員数はパパート含め約1200人。近年では福祉系専門学校や大学、近隣の高校との関係構築が進んだことから、23年4月は新卒を29名採用。来年度も同等数の採用を予定している。転職が当たり前の時代だが、介護の仕事では、長く働いてもらえることに価値があると考える。」

大型CCRC施設 コミュニティ創出

「ス」を導入している。小口 佐倉の施設では、介護居室全床に見守りセンサーを導入し、今後全施設に展開する。また、神戸の施設で導入予定だ。テクノロジー活用による業務改革も

「ス」を導入している。小口 佐倉の施設では、介護居室全床に見守りセンサーを導入し、今後全施設に展開する。また、神戸の施設で導入予定だ。テクノロジー活用による業務改革も



▲キター演奏クラブの様子

「ス」を導入している。小口 佐倉の施設では、介護居室全床に見守りセンサーを導入し、今後全施設に展開する。また、神戸の施設で導入予定だ。テクノロジー活用による業務改革も

「ス」を導入している。小口 佐倉の施設では、介護居室全床に見守りセンサーを導入し、今後全施設に展開する。また、神戸の施設で導入予定だ。テクノロジー活用による業務改革も